



# よみがえる グリーンライン

～「普通の道」を「特別な道」に～



グリーンラインを愛する会  
理事長 丸山 孝志

「福山グリーンラインを特別な道路にしたい」と思い、最初に取り掛かったのは「ドライブマップを作る」「オートバイが通れる道路にする」「何かイベントをやる」などと言った案でした。

そうしたことをやろうと思った時に、不思議な事に私の頭の中でそれらの目標に向かって進む地図の様なものが浮かんだのです。

それは10年間私が様々な課題と向き合いながら、右往左往し、試行錯誤をし、色々な失敗をしてきた経験から得られた知識のお陰だったと思います。

この頃には行政・議員・企業・マスコミ・各種団体など多方面の方々とのネットワークも信頼関係もしっかりと築く事が出来ていました。

そのおかげで2010年頃までには沢山の成果を得る事が出来ました。自慢話をする気は無いのですが、ちょっとだけそうした出来事などを並べてみます。

2003年頃から「福山西ロータリークラブ」との協働連携が始まり現在まで続いています。

2004年頃から「福山尾道掃除に学ぶ会」との協働連携が始まりました。また「グリーンライン駅伝」が始まり2012年まで開催されました。

2005年に福山葦陽ライオンズクラブと協働で「熊が峰広場」の再整備を開始。現在まで年数回、現地での活動を継続中です。

2008年に「みどりの愛護功労者、国土交通大臣表彰」を受賞し、祝賀報告会には市長・市議会議長を始めとして、各界から多数の参加をいただきました。

また、この年には福山市の補助金を得て「沿線観光案内看板整備事業」に着手し、翌2009年には「ファミリーパーク北広場」を広島県や福山市と協働して完成させる事も出来ました。そして2009年からは「緊急雇用対策事業」として広

島県と福山市から1億円近い事業を受託し、沿線の不法投棄ゴミの回収や景観支障木の伐採だけでなく、沼隈半島全体の景観改善事業も行いました。

当時の福山市の観光パンフレットや観光マップには福山グリーンラインの事は少しも触れていませんでしたが「無ければ作れば良い」と「ぬまくマップ」という沼隈半島のドライブマップも作りました。現在までに10万枚以上を作りました。

また、2008年からは「二輪車通行禁止規制解除」の為の活動を開始し、10年後の2018年に33年ぶりに規制が解除されました。

当時を振り返ると本当に「良く倒れなかったものだ」と思う程のハードな時期でした。

こうした事を通して「何かをやりたいと課題を見つけた時に必要な物の考え方や見方」の丸山流ともいうべきものを見つけました。過去にも私がレディオびんごのパーソナリティをさせていただいた時や、社内研修の資料などに活かしてきましたし、広島県の依頼での「行政職員初任研修」や、まちづくりなどの講演依頼をいただいた際にもご披露してきました。

次回からはそうした「丸山流課題との向き合い方」についてお話を進めて行きます。



自動二輪車通行規制解除記念パレード